

**本会記事****第39回プラズマ・核融合学会年会
一般講演の募集**

第 35 回年会から新たに領域制（基礎，応用，核融合プラズマ，核融合炉工学）が導入されました．これに伴いまして，通常の一般講演のほか，テーマに沿った講演で構成するオーガナイズドセッションにおける一般講演も募集します．講演を希望される方は期日までにお申し込みください．

1. 会 期：2022 年 11 月 22 日 (火)～11 月 25 日 (金)

2. 会 場：富山国際会議場
(〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号)

3. 講演者の資格

- ・一般講演の講演者は原則として本会会員に限ります．講演手続きと同時に入会手続きを行うことが可能です．詳しくは Web をご覧ください．
- ・オーガナイズドセッションでは，非会員の方も正会員と同等の資格で講演できます．
- ・外国人の場合は非会員であっても登壇できますが，参加費が別料金となります（参加費の項目を参照）．

4. 講演募集分野

発表内容は，以下に記す分野に関して最近行われた研究で，学術的に価値のある未発表のものに限ります．

- (1) プラズマ基礎（領域名：基礎）
- (2) プラズマ応用（領域名：応用）
- (3) 核融合炉心プラズマ関係（領域名：核融合プラズマ）
- (4) 核融合炉工学関係（領域名：核融合炉工学）

なお，上記分野に関する内容以外を含むもの，学術的に価値があると認められないもの，あるいは本会の品位と信用を損なう恐れがあると判断される講演申し込みは受理いたしません．

5. 一般講演の発表形式**発表形式（一般講演）**

発表言語：日本語，または英語

発表資料，および講演予稿：日本語，または英語

- ・口頭発表およびポスター発表とします．口頭発表は 1 題目につき一律 15 分（発表 10 分，質疑 5 分）を予定しています．なお，オーガナイズドセッション（OS）の口頭発表は，15 分（発表 10 分，質疑 5 分）～20 分（発表 15 分，質疑 5 分）です．各 OS の発表時間はオーガナイザーからお知らせします．
- ・プログラム編成については，年会運営委員会プログラム委員会にお任せください．口頭発表・ポスター発表

それぞれについて，希望どおりにならない場合があります．また，連続講演の指定は可能な範囲で対応します．

- ・講演登録をすませた講演発表者（登壇者）1 名につき，複数のポスター発表が可能です．また，連名者としての登録件数制限はありません．
- ・プログラム編成に関する業務上知り得た機密情報を発表，公開，漏えいおよび利用いたしません．また，個人情報取り扱いには細心の注意を払い，公開，漏えい，および利用いたしません．

一般講演分野細目

主分野 1 件，また必要であれば，さらに従分野（主分野に次いで関係の深い分野）を 1 件（合わせて 2 件まで）（記載例：主分野 A-5，従分野 B-1）

A. 基礎

- A-1 プラズマ基礎・放電物理
- A-2 スペースプラズマ（宇宙プラズマ・天文）
- A-3 高エネルギー密度科学・量子ビーム
- A-4 非平衡極限プラズマ
- A-5 波動，不安定性，流れ，加速
- A-6 プラズマ計測
- A-7 原子分子過程，表面素過程
- A-8 非中性プラズマ・ダストプラズマ
- A-9 プラズマ源・イオン源
- A-10 データ駆動プラズマサイエンス
- A-11 その他

B. 応用

- B-1 産業用のプラズマ源とモニタリング
- B-2 成膜・表面処理
- B-3 エッチング
- B-4 ナノテクノロジー
- B-5 ライフサイエンス
- B-6 環境・エネルギー
- B-7 新応用・融合分野
- B-8 その他

C. 核融合プラズマ

- C-1 平衡・安定性
- C-2 閉じ込め・輸送・乱流
- C-3 加熱・電流駆動・高エネルギー粒子物理

C-4 スクレイブオフ層・ダイバータ物理
 C-5 定常運転・制御
 C-6 計測・診断
 C-7 高ベータ・コンパクト系の物理
 C-8 慣性核融合・高エネルギー密度プラズマ
 C-9 その他

D. 核融合炉工学

D-1 炉設計
 D-2 マグネット
 D-3 ブランケット (ブランケット材料含む)
 D-4 ダイバータ・プラズマ対向機器 (ダイバータ材料含む)
 D-5 加熱・電流駆動システム
 D-6 核融合燃料システム
 D-7 核融合炉の安全性・保守性
 D-8 核融合炉の経済性・社会受容性
 D-9 ニュートロニクスと中性子源
 D-10 計測・制御
 D-11 その他

オーガナイズドセッション

テーマに沿った講演で構成するオーガナイズドセッションを実施しています。このセッションでの一般講演(口頭発表およびポスター発表)を希望される場合は、申し込みの際、希望するセッション名を選択してください。なお、口頭発表の件数に限りがありますので、口頭発表を希望しても、ポスター発表になる場合があります。

- ・オーガナイズドセッションでは、非会員の方も正会員と同等の資格で講演できます。
- ・オーガナイズドセッションの口頭発表は、15分(発表10分、質疑5分)～20分(発表15分、質疑5分)です。発表時間はオーガナイザーからお知らせします。

E-1 実験室プラズマ・宇宙プラズマ連携セッション
 -シナジーで限界突破に挑む【基礎】
 E-2 データ駆動プラズマ科学 -インフォマティクスで
 発見を加速する-【基礎】
 E-3 プラズマプロセスの高精度制御【応用】
 E-4 高電界・プラズマと生体の相互作用【応用】
 E-5 高専における放電プラズマ教育研究の拡がり
 と展望【核融合プラズマ(基礎、応用との連携)】
 E-6 トリチウム【炉工学】

6. 講演申込期限

Web による受付締切：2022 年 8 月 19 日(金) 12:00

- ・一般講演申込は、原則として Web で受け付けます。期限までに申し込んでください。
- ・Web での申し込みは上記締切期限を過ぎますとアクセスできなくなりますのでご注意ください。

- ・Web 登録が受け付けられると、登録完了画面が表示され、受付完了の電子メールが連絡代表者に送られます。この電子メールが届かない場合は、正常に登録されていないと考えられますので、その場合には 8 月 23 日(火)17 時までに必ず事務局までご連絡ください。
- ・発表の可否、講演番号は 9 月中頃にお知らせします。
- ・講演申込で登録された登壇者名、講演題目がそのままプログラムに記載されます。受付締切後はこれらの項目の変更は認められません。
- ・やむを得ず年会当日に講演できなくなった場合には、速やかに事務局に連絡してください。

7. 講演予稿集について

Web による講演予稿原稿提出期限：

2022 年 11 月 11 日(金)

- ・講演予稿原稿は、一般講演は 1 ページ以内、その他の招待講演、特別講演、特別企画、シンポジウム等での発表者は 2 ページ以内で作成し、必ず期限までに予稿原稿を提出してください。
- ・Web ページには原稿見本を用意しています。
- ・予稿原稿は Web ページから送信してください。FAX、電子メールへの添付による提出は受け付けません。
- ・提出期限後においては、すでに提出された予稿原稿の内容書き換えあるいは掲載取り下げは認められません。
- ・11 月 14 日(月)以降に全ての予稿を Web 上で公開いたします。ただし、予稿を閲覧する際には、予稿原稿受理通知の Web ページでお知らせするパスワードの入力が必要です。なお、講演なしで年会参加を予定されている方には、登録完了画面にてパスワードをお知らせします。
- ・予稿は冊子体では配布いたしません。
- ・「年会プログラム冊子」は、10 月号会誌と同送予定です。

8. 著作権

登録される講演情報(題目・発表者氏名・所属)および投稿される予稿の著作権は、プラズマ・核融合学会に帰属します。本会の許可なく転載はできません。なお、当日の発表資料の著作権は登壇者に帰属します。こちらも許可なく録音・撮影することは禁止します。

9. ポストデッドライン(PD)講演

今年会では実施いたしません。

年会に関するお問合せ：

学会事務局 Tel 052-735-3185 E-mail: plasma@jspf.or.jp
http://www.jspf.or.jp/jspf_annual2022/

■ Web 講演申込記入上の注意

下記 Web サイト内のオンライン申し込みページから
ご登録ください。

* オンライン申し込み Web サイト :

http://www.jspf.or.jp/jspf_annual2022/

- ・ 講演申し込み内容の中には省略できないものがあります。その場合、注意画面が出ますので指示に従ってください。
- ・ 連絡代表者の方を記入する氏名欄と著者を記入する氏名欄があります(連絡代表者は原則として登壇者となります)。後者には登壇者を含む全員のお名前をご記入ください。
- ・ 講演内容要旨はプログラム編成上の参考としますので、十分に内容がわかるように記述してください。
- ・ 非会員の外国人のかたが申込を行う場合は、お近くの学会正会員を連絡代表者とし、登壇者の会員番号欄には連絡代表者の会員番号をお書きください。

■ 参加費について

- ・ 登録終了後、9月中旬以降順次、事務局からハガキ型払込取扱票(全国のコンビニエンスストアで使えます。またLINE Payにも対応しています)を郵送いたしますので、11/4(金)までにお払い込みください。
- ・ 納入された参加費は、原則として返金いたしません。
- ・ 事務処理の合理化をはかるため、原則として参加事前登録を行いますので、当日参加受付の場合には、参加費を1,000円割増しさせていただきます。皆様のご協力とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(1) 参加事前登録受付期間 : 10/21 (金) まで

* オンライン登録がお済みでも、11/4(金)までに払い込みいただけない場合は、当日参加受付料金を頂戴いたします。ご注意ください。

	一般	学生
(1)正会員の 方	8,000円(不課税) [登壇可]	6,000円(不課税) [登壇可]
(2)会員外 の方	10,000円(税込) [登壇不可]	8,000円(税込) [登壇不可]
(3)外国籍の APS/EPS会 員の方	8,000円(税込) [登壇可]	6,000円(税込) [登壇可]
(4)外国籍の 会員外の方	10,000円(税込) [登壇する場合は +2,500円]	8,000円(税込) [登壇する場合は +1,500円]

備考	<ul style="list-style-type: none">・ 若手学会発表賞の審査対象になれるのは本学会に入会している方のみです。・ オーガナイズドセッションの登壇者が会員外の場合には、会員と同等の資格とします。一般 8,000 円、学生 6,000 円です。・ 賛助会員企業に所属している方は、会員価格の参加費で参加できます。また 1 名 1 件に限り参加費無料で登壇できます。・ 年会開催年 4 月 1 日(2022 年 4 月 1 日)において満 65 歳以上の会員は、事前登録の有無にかかわらず、参加費は無料です。ただし、発表をする場合には登壇料として 2,500 円が必要です。
----	--

(2) 10 月 22 日(土)~年会当日

* 10/21(金)までに事前登録していただいても、期日までに払い込みしていただけなかった場合にはこちらの料金となります。

	一般	学生
(1)正会員の 方	9,000円(不課税) [登壇可]	7,000円(不課税) [登壇可]
(2)会員外 の方	11,000円(税込) [登壇不可]	9,000円(税込) [登壇不可]
(3)外国籍の APS/EPS会 員の方	9,000円(税込) [登壇可]	7,000円(税込) [登壇可]
(4)外国籍の 会員外の方	11,000円(税込) [登壇する場合は +2,500円]	9,000円(税込) [登壇する場合は +1,500円]
備考	<ul style="list-style-type: none">・ 若手学会発表賞の審査対象になれるのは本学会に入会している方のみです。・ オーガナイズドセッションの登壇者が会員外の場合には、会員と同等の資格とします。一般 9,000 円、学生 7,000 円です。・ 賛助会員企業に所属している方は、会員価格の参加費で参加できます。また 1 名 1 件に限り参加費無料で登壇できます。・ 年会開催年 4 月 1 日(2022 年 4 月 1 日)において満 65 歳以上の会員は、事前登録の有無にかかわらず、参加費は無料です。ただし、発表をする場合には登壇料として 2,500 円が必要です。	

■若手学会発表賞（学生会員部門・正会員部門）

若手学会発表賞（学生会員部門・正会員部門）の受賞は、次の条件をすべて満たす方が対象となり、一般講演申込締切時間までに、事前の申請および申請書の提出が必要です。申請方法の詳細および申請書のダウンロード方法は年会 Web ページで確認してください。

- (1) 本学会の学生会員および正会員会員。ただし、入会手続き中の者は会員とみなします。
- (2) 年会開催年 4 月 1 日（2022 年 4 月 1 日）において、満 35 歳以下または会議開催中に学生である方。ただし、出産・育児等により長期休業された方は、年齢制限が緩和されますので、事務局までご相談ください。
- (3) 一般講演論文の筆頭著者の方。
- (4) 年会開始前に本賞候補者として事前申請している方。
- (5) 年会に参加登録し、かつ実際に登壇発表した方。
- (6) 本賞を過去に受賞したことがない方。ただし、学生部門の受賞者は、会員種別変更後、正会員部門でも受賞できます。
- (7) 申請は一人一件とします。

申請・申請書の受付締切：2022 年 8 月 19 日（金）12:00

講演申込締切と同じであることにご注意ください。締切後の申請・申請書提出は受理しません。